

第100回記念二科展 新潟巡回展だより

会期＝2015年9月20日～29日

会場＝新潟県民会館ギャラリー



■新潟では5年の節目ごとに巡回展を開催してきましたが、今回は100回記念二科展ということで前回以上の力を入れて準備に取り組んできました。巡回展の先頭を走る新潟では、国立新美術館での100回展が終わるや否やの作業となり、実働部隊には大変忙しいものがありました。

■開場式で、田中理事長は地元新聞社（新潟日報社）と並ぶ主催者として挨拶され、二科の真髓を広く県下に喧伝されました。

■政令指定都市新潟市の「県民会館ギャラリー」を会場に、9月20日(日)～29日(火)の10日間にわたり盛大に開催されました。ギャラリーA、Bの両方に展開された巡回作品（絵画114点、彫刻10点）に新潟関係の絵画彫刻79点を加えた計203点に、来場者からは「作品がバラエティーに富んでいる、すごい、さすが二科だ、迫力に圧倒された……」などの声が聞かれました。



■ギャラリートークは絵画彫刻の会員により計5回行なわれ、各回とも熱心なファンが参集しました。絵を描いている人いない人、それぞれの眼で芸術のABCを楽しんでいました。

■会期中には田中理事長の外に、生方常務理事・香川理事、彫刻の工藤・日高参与、埴事務局長らがお出でになり、新潟に力強いエールを送っていただきました。二科会役員各位との交流懇親の席では、ふだん見られない豊饒な人間性にふれることもでき、地方在住の我々にはなによりの“巡回展みやげ”でした。ありがとうございました。



■会場1階の展示室には、新潟の物故会員の作品・100回展記念DVD・本部より借用の各種パネルなどを紹介し、巡回展にひと味を付け加えることができました。

■入場者数は今までの記録を大きく更新し7,000人に達しました。これを機に、絵画彫刻の新潟支部80名は次のステップに向けて大きく飛翔したいと念じております。(文責:小林直司)

